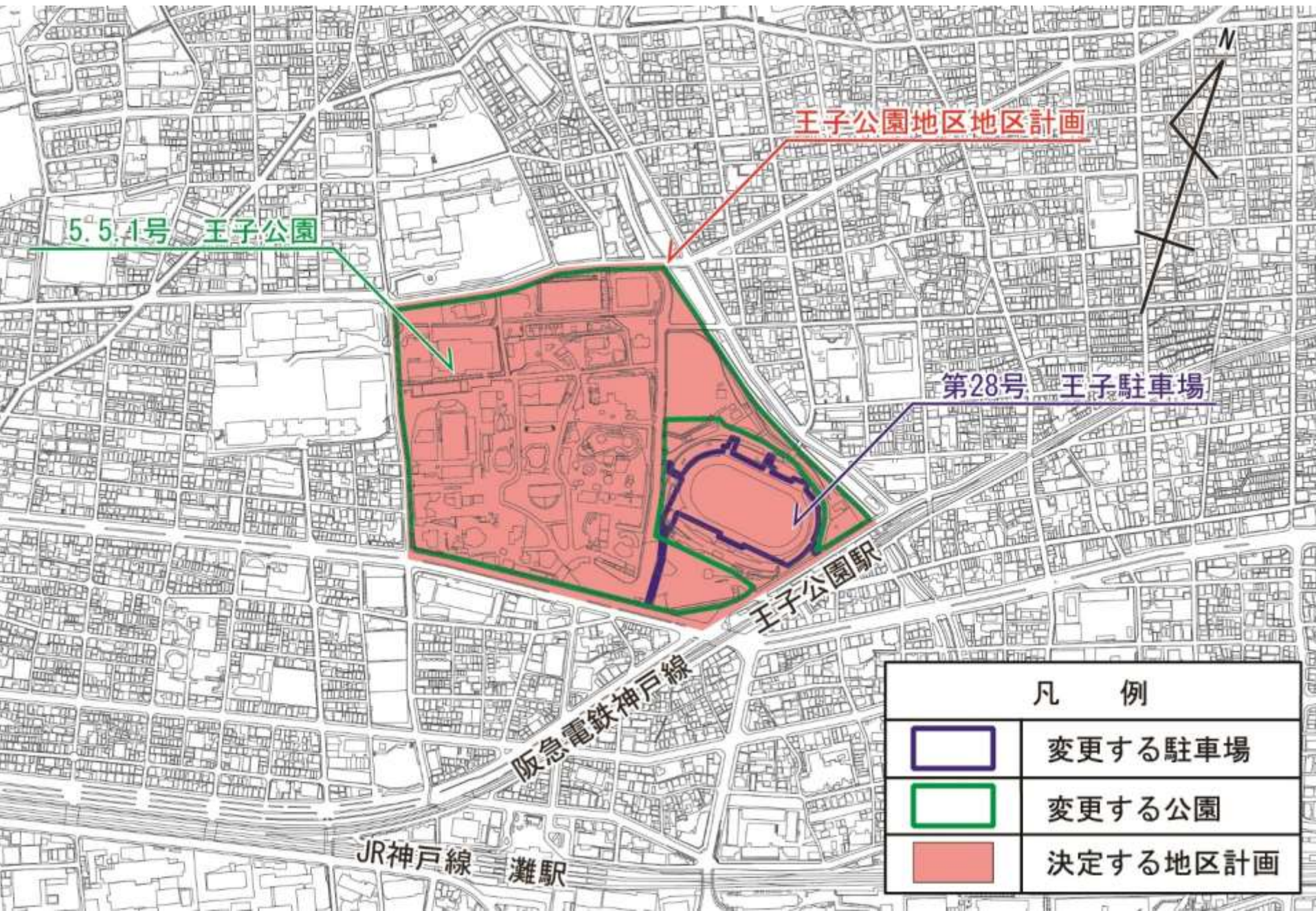


第1号議案 神戸国際港都建設計画駐車場の変更
(第28号 王子駐車場)

第2号議案 神戸国際港都建設計画公園の変更
(5.5.1号 王子公園)

第3号議案 神戸国際港都建設計画地区計画の決定
(王子公園地区地区計画)

位置図



凡 例



変更する駐車場

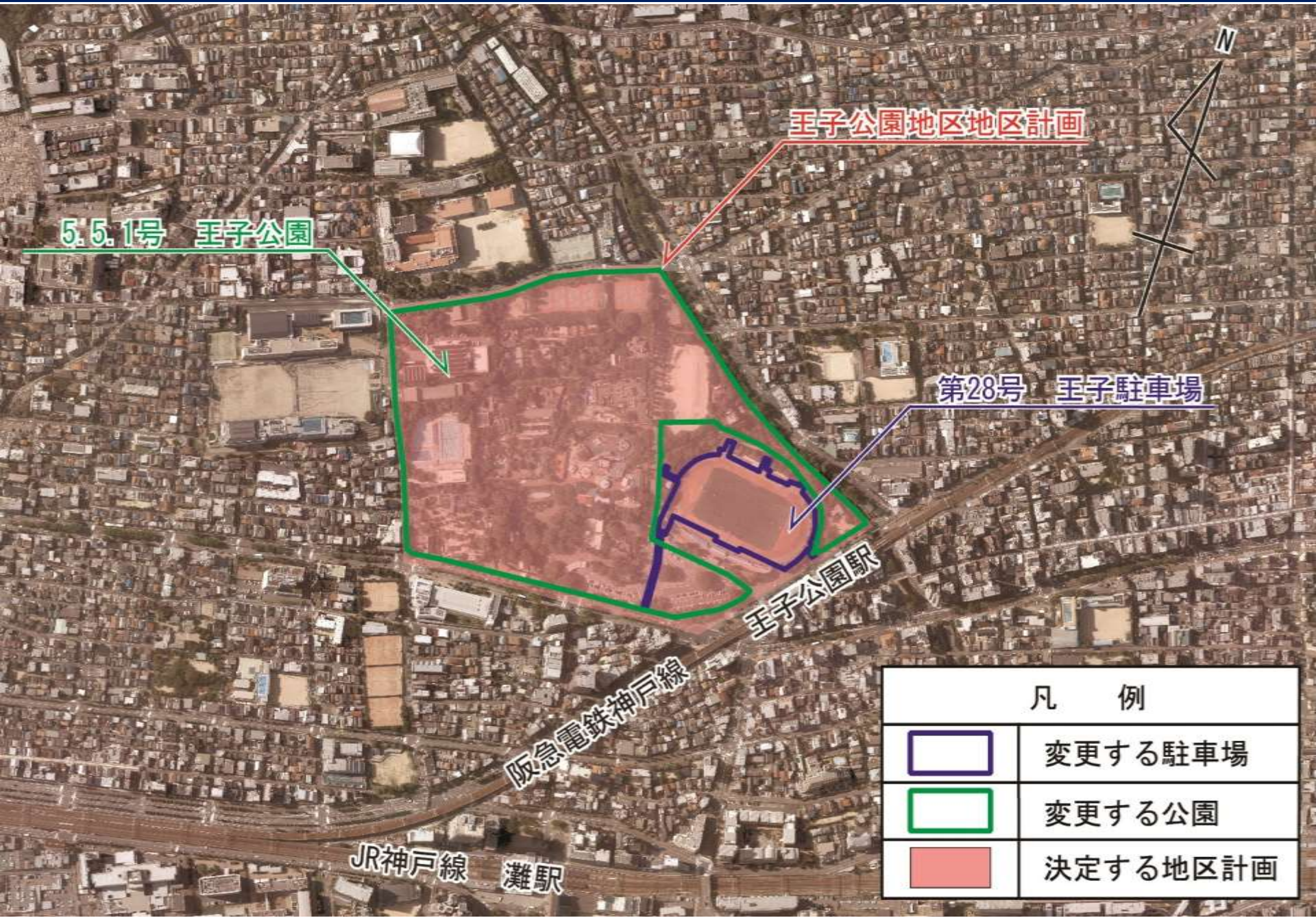


変更する公園



決定する地区計画

航空写真



王子公園地区地区計画

5.5.1号 王子公園

第28号 王子駐車場

王子公園駅

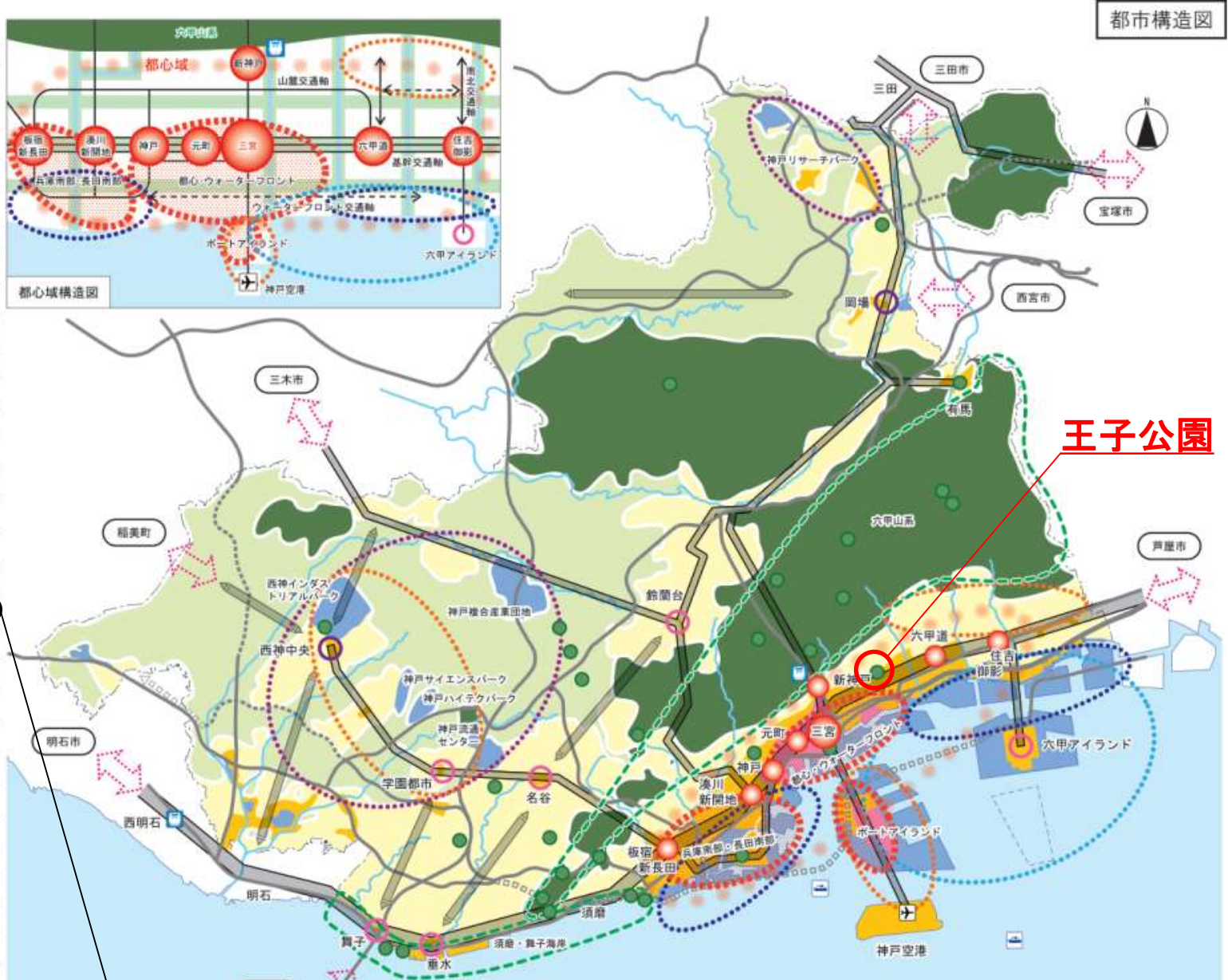
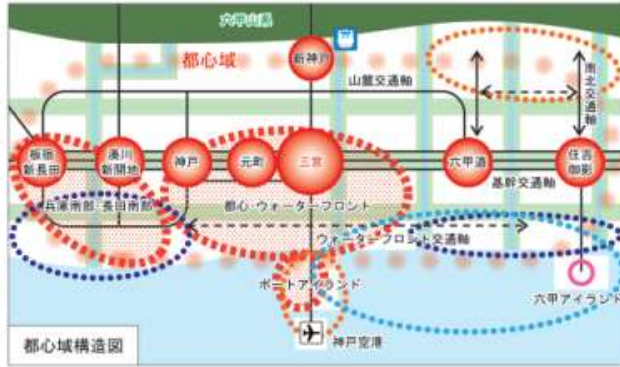
阪急電鉄神戸線

JR神戸線 灘駅

凡 例	
	変更する駐車場
	変更する公園
	決定する地区計画

上位計画での位置づけ(神戸市都市計画マスタープラン)

凡例		
ゾーン	住宅地	
	複合機能地	
	高度商業・業務地	
	工業・流通業務地	
	田園のゾーン	
みどりのゾーン		
エリア・拠点	臨海産業エリア	
	内陸新産業エリア	
	知識創造エリア	
	港湾物流エリア	
	都心域	
	都心核	
	都心拠点	
	市街地整備の先進エリア	
	連携拠点	
	地域拠点	
憩いの拠点	憩いの拠点	
	河川	
	緑道形成帯	
交通ネットワーク	広域公共交通(鉄道)	
	主要公共交通(バス)	
	フェリー・船舶など	
	空港	
	新幹線	
	既用中	
	事業中	
計画		
構想		



王子公園

憩いの拠点: スポーツ・レクリエーションの場となる主な公園・施設など

上位計画での位置づけ(神戸市緑の基本計画)

取り組み⑤ シンボルとなる公園の魅力向上



まちなみのゾーンにおける取り組み～シンボルとなる公園の魅力向上～

上位計画での位置づけ(大規模公園ビジョン)

大規模公園の将来の方向性

- ・「維持管理する資産」といった枠の中の発想から、「未来へ継承する資産」「柔軟に使いこなせる資産」「まちに開かれた資産」として再認識し、市民全体の利益につながるように価値のさらなる向上を図る



リノベーション計画の
検討・立案

これまでの検討経緯

- 2021年 1月 市長定例会見(王子公園の再整備と大学誘致を発表)
⇒ 2021年度に必要な予算を計上し、調査検討に着手
- 12月 再整備基本方針(素案) 公表
- 2022年 9月 再整備基本方針(修正素案) 公表
- 12月 再整備基本方針・動物園リニューアル基本構想 策定
大学設置・運営事業 公募の開始
- 2023年 6月 大学設置・運営事業 優先交渉権者の決定
- 9月 再整備基本計画(素案) 公表
- 10月 再整備に関連する都市計画の説明会
- 12月 再整備基本計画(案) 公表
大学設置・運営事業 基本協定の締結

ゾーニング



5つの基本目標

- ①新たな「原田の森」の創造
- ②学術・文化拠点のシンボルの創出
- ③王子動物園の魅力向上
- ④公園とスポーツ施設のリノベーションと魅力向上
- ⑤広域防災拠点の機能強化

基本方針で掲げた基本目標

基本目標1～新たな「原田の森」の創造～

【公園全体】緑陰のある園路・園地と休憩施設



王子公園全体の魅力を向上させながら良好な景観の維持、向上

基本方針で掲げた基本目標

基本目標2 ～学術・文化拠点のシンボル創出～

周辺エリアのポテンシャル

- ・海と山に挟まれた魅力ある景観
- ・都心三宮に近く、駅に隣接する高い利便性
- ・古くから培われた教育・文化の気風

市が抱える課題

- ・持続可能な社会の実現(SDGs)
- ・若年定住人口の減少、高齢化の進展
- ・王子公園施設の老朽化、周辺地域の活性化

大学に期待する役割

- ・大学の使命「教育」「研究」「社会貢献」
- ・SDGsの達成に資する教育研究活動
- ・優秀な人材の確保・育成・輩出、社会貢献



王子公園周辺エリアの歴史と文化を尊重し

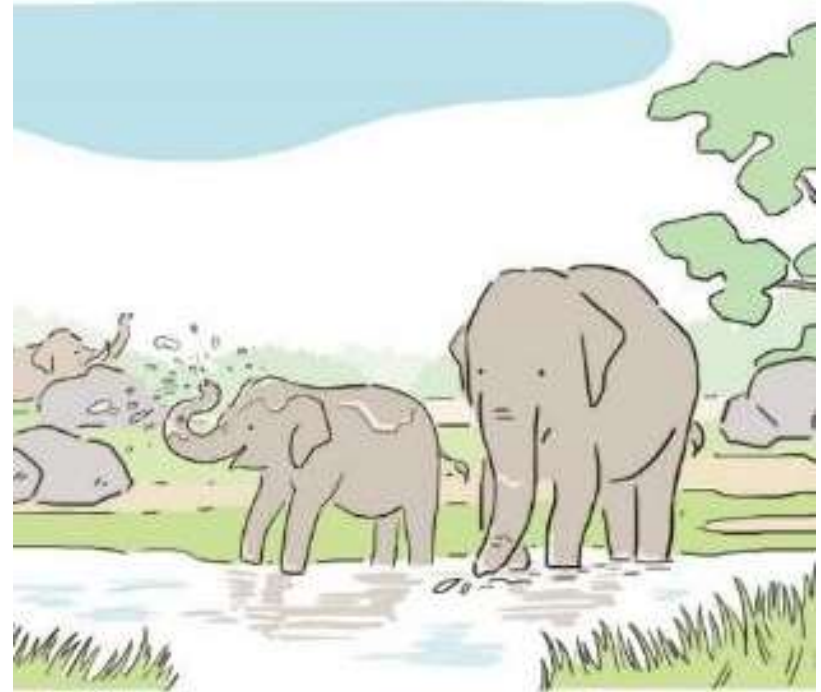
地域そして世界に開かれた大学



基本方針で掲げた基本目標

基本目標3 ～王子動物園の魅力向上～

分かりやすいゾーニング



六甲の豊かな緑を感じ、動物と人がいきいきと過ごしながら世界につながる動物園

基本方針で掲げた基本目標

基本目標4 ～公園とスポーツ施設のリノベーションと魅力向上～

緑の広場(芝生広場)



緑の広場(ゲート前)



スポーツゾーン(新スタジアム)



スポーツゾーン(みんなの広場)



誰もが気軽に憩い、くつろげ、利用できる空間

基本方針で掲げた基本目標

基本目標5 ～広域防災拠点の機能強化～

◆ 公園全体

- ・緊急避難場所
- ・防火樹林帯
- ・既存機能の確保



緊急車両(大型車)動線



公園全体で広域防災拠点としての機能を強化

国際化、産官学民連携、デジタル
を徹底的に強化した
4,000人規模の新しい学びの場
(学部レベル) を新設予定



※「大学の概要」資料の内容・イメージは今後の協議により変更の可能性あり

大学の概要

コンセプト

関西学院大学王子キャンパス構想の全体像

建学の精神
キリスト教主義に基づく全人教育

関西学院の理念等
“Mastery for Service”を体現する世界市民の育成

ミッション

王子キャンパス

全体コンセプト

自分で、みんなで。未来を起動するオープンイノベーションパーク
- 地域・社会・世界が大学に入ってくる学び -

王子キャンパスで
育成する人材像

未来をデザインし起動できる世界市民

アカデミックコンセプト

VUCAの時代を切り拓くイノベーション能力を涵養

キャンパスコンセプト

地域・社会・世界の様々な人、情報が行き交うプラットフォームキャンパス

地域経済・地域貢献に関する方針

地元とともに成長し
近隣・市域の経済を活性化

+

大学のリソースを最大限活用した
取組を通して地域に貢献

大学の概要

コンセプト 全体コンセプト

時代背景

- 変化が加速し、予測困難な現代（VUCAの時代）
- 世界の高等教育のパラダイムシフト



王子キャンパス

新しい大学教育の創造の場

- 教職員、学生が世界からの研究者・留学生や企業、自治体、地域住民とともに、
プロジェクト型学習で課題解決に取り組む
- 地域・社会・世界にイノベーションを起こす人材を育成・輩出



「自分で、みんなで。未来を起動するオープンイノベーションパーク」の創出

大学の概要

コンセプト

育成する人材像

「未来をデザインし、起動できる世界市民」を育成

「未来をデザインする」こと

原因や解が1つではない現代の複雑な課題に対して、他者と対話し共感しながら、進むべき方向性や解を見出し、提案すること。



「未来を起動する」こと

社会と世界のために、新たな価値を自ら生み出すアントレプレナーシップを発揮すること。

- 世界や社会との連携、交流を通じて、国際性や多様性への理解を身につけ、アントレプレナーシップを発揮してよりよい社会の実現に貢献できるイノベーション人材を育成

大学の概要

コンセプト アカデミックコンセプト

VUCAの時代を切り拓くイノベーション能力を涵養

- 課題解決に焦点を据えた文理融合かつ学際的な学びを重視
- 最先端のデジタル技術で既存キャンパスと緊密なネットワークを構築
 - 総合大学としてのリソースも活用
- 国際都市神戸にふさわしい、国際性と多様性に満ちたキャンパスを目指す



コンセプト アカデミックコンセプト

特色① 実践的な産官学民連携

プロジェクト推進を核に、神戸、日本、未来の新たな価値創出の拠点を整備

特色② 垣根のない国際連携・交流

「垣根なきラーニングコミュニティ」を標榜する関西学院大学らしい国際性豊かなキャンパス

特色③ 最先端のデジタル技術を積極的に活用

メタバースやオンラインでの学びも積極的に取り入れ、国際化を推進

大学の概要

コンセプト キャンパスコンセプト

地域・社会・世界の様々な人、情報が行き交うプラットフォームキャンパス

キャンパスの特色

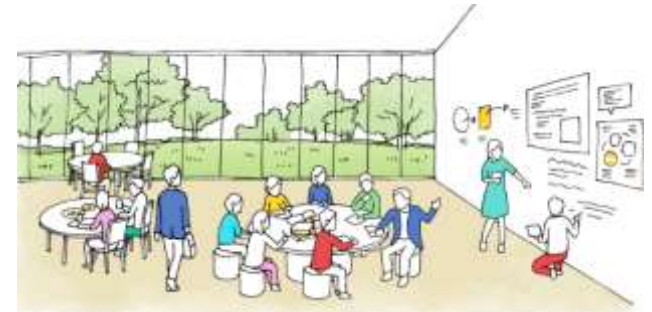
- 特色①【空間】 緑豊かな景観と調和するキャンパス
- 特色②【機能】 王子公園と一体的なまちに開かれたキャンパス
- 特色③【地域貢献】 プロジェクト型学習やリカレント・リスキリング教育を通じて地域貢献



六甲の山々に呼応した
キャンパス計画



地域開放（イメージ）



学びの場（イメージ）

大学の概要

キャンパス 特色① 緑豊かな景観と調和するキャンパス

神戸・六甲の緑豊かな斜面地と調和する計画

▶ 山並み景観に配慮した分棟による配棟計画

→建物ボリュームを抑え、六甲の山並みの景観を阻害しない

▶ 新たな原田の森の創造

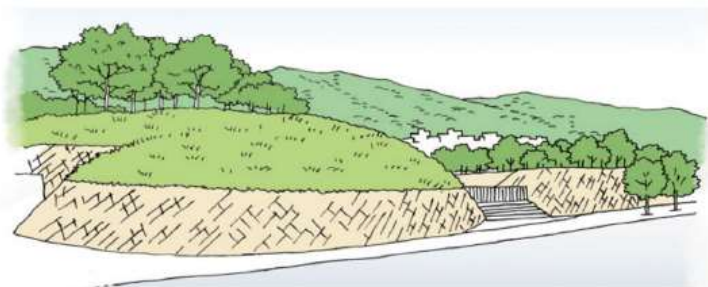
→周辺の豊かな緑と地形と文化を生かし、
市民も憩える施設を計画

▶ 緑の広場とシームレスにつながる中庭空間の創出

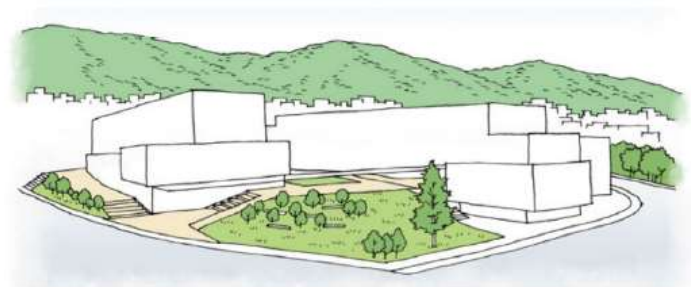
→擁壁をなくし、緑の斜面で周辺の緑地空間とシームレスに接続



建物配置 (イメージ)



現状



計画後

大学の概要

キャンパス 特色① 緑豊かな景観と調和するキャンパス

神戸・六甲の緑豊かな斜面地と調和する計画

➤ アースカラーを基調とする色彩デザイン

→周辺に広がる緑を建物に積層させ、

周辺の自然環境と調和する色彩を計画

※設計施工会社選定前の想定であり、
今後の検討で変更となる可能性があります

アースカラー

木や土、砂などの「大地」の色や、
海や植物などの「自然物」を表した色彩

【例】 茶 緑 青 ベージュ 等



アースカラー（イメージ）



大学の概要

キャンパス 特色① 緑豊かな景観と調和するキャンパス

神戸・六甲の緑豊かな斜面地と調和する計画

▶ 地域の自然植生に配慮した植栽計画

→地域に根差した植栽を導入し、六甲山の山並みと調和した景観を形成

植栽計画（イメージ）



大学の概要

キャンパス

特色② 王子公園と一体的なまちに開かれたキャンパス

※設計施工会社選定前の想定であり、

今後の検討で変更となる可能性があります

周辺施設を有機的につなぐ施設計画

➤ どこからでも入れる公園のようなイメージ

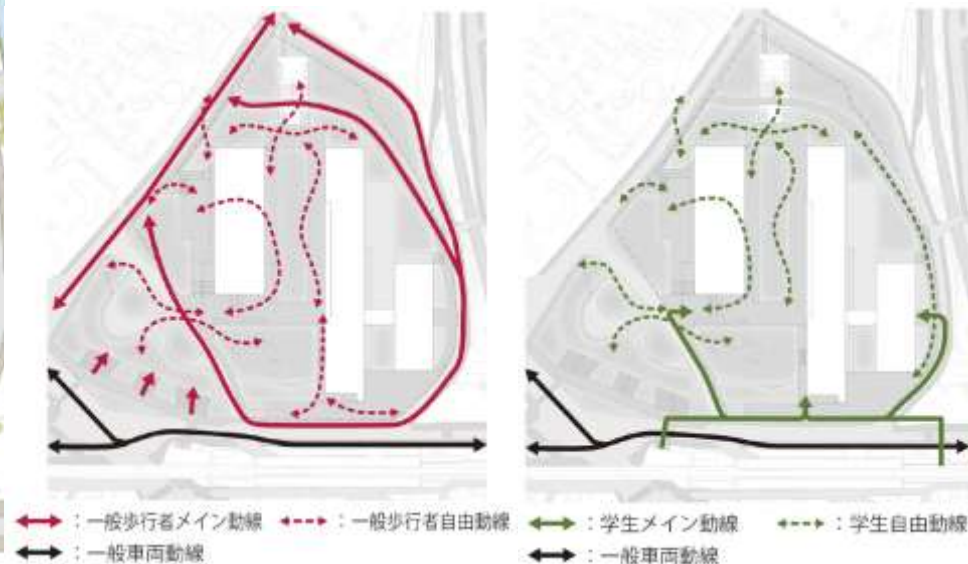
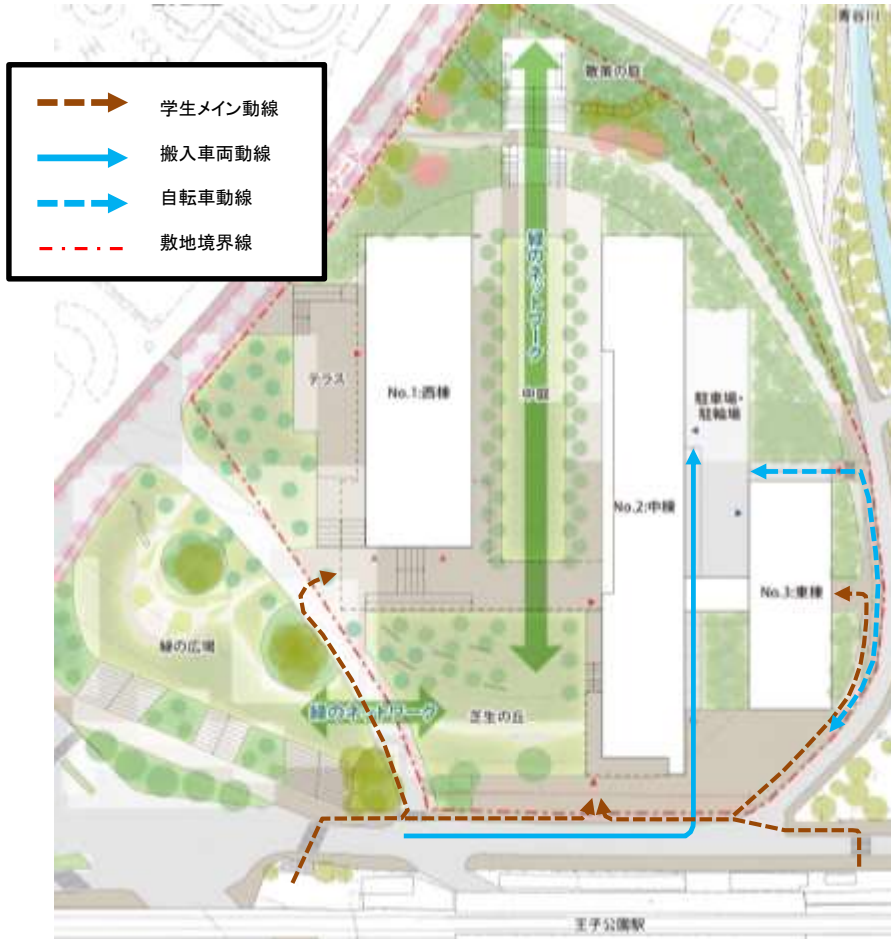
➤ 多様な通り抜け動線、回遊動線を創造

→どこからでも出入りできるよう計画

→主な学生の入口を複数設け混雑を緩和

→歩車分離を基本とする。

➤ 多様な動線のイメージ



大学の概要

キャンパス 特色② 王子公園と一体的なまちに開かれたキャンパス

周辺施設を有機的につなぐ施設計画

➤ 開放的なキャンパスを創造

→中庭や緑の広場、シンボルプロムナードまでをシームレスにつなぎます

開放的なキャンパス（イメージ）



大学の概要

キャンパス 特色② 王子公園と一体的なまちに開かれたキャンパス

あらゆる世代や属性の人々が日々気軽に訪問できる場として、キャンパス施設を開放

※設計施工会社選定前の想定であり、今後の検討で変更となる可能性があります

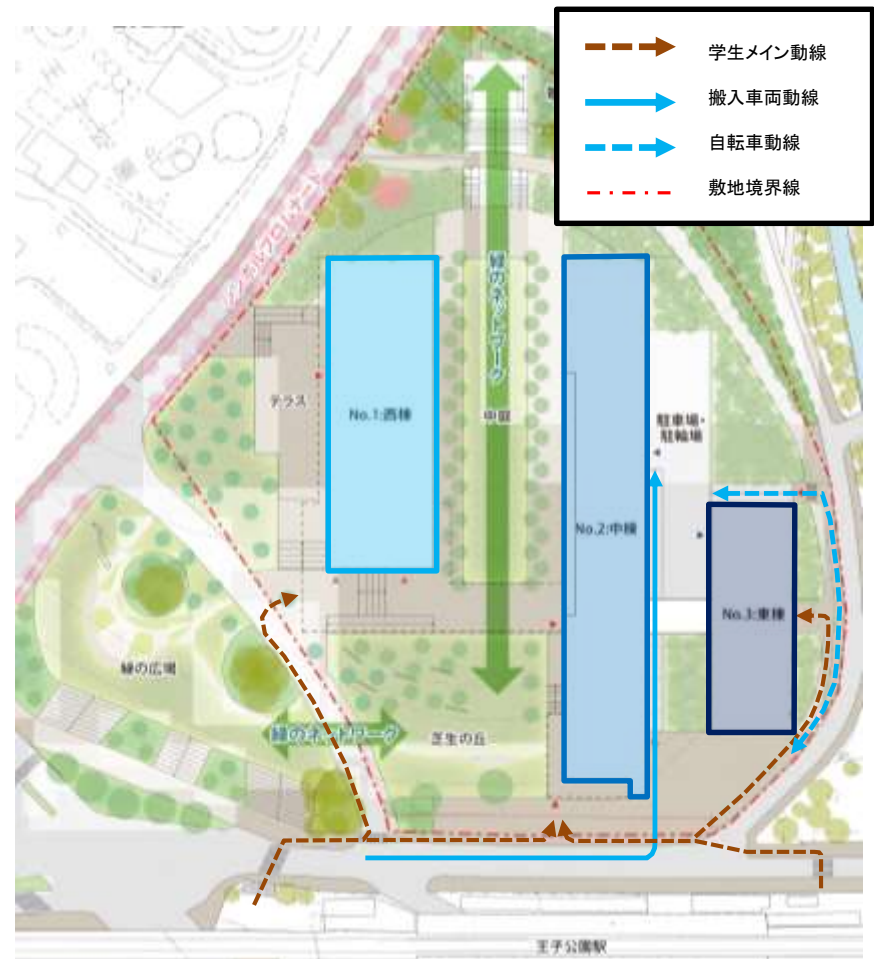
- レストラン等の学校内の魅力施設、プロジェクト型学習の基地となるオープンラボ（仮称）の一部やホール等を地域に開放

<整備を予定している機能>

教室、PJ（プロジェクト）スペース、ラーニングcommons、事務室、研究室、レストラン、カフェ、図書館、テラス、オープンラボ、学食、ラウンジ、アリーナ（体育館）、スポーツゾーン、ホール 等

※オレンジ色の施設は一般開放予定（予約・登録制含む）

西棟	
階数	地上7階
高さ	31m
中棟	
階数	地上7階・地下1階
高さ	31m
東棟	
階数	地上3階・地下1階
高さ	18m



大学の概要

キャンパス 特色② 王子公園と一体的なまちに開かれたキャンパス

地域資源となる上質な空間として、以下の提供を検討

- ▶ 眺望を楽しみながら食事を楽しめるレストラン、カフェ、テラス等
- ▶ 一般の方が利用できる大学図書館「まちライブラリー」
- ▶ 学びと交流のプラットフォーム「オープンラボ（仮称）」

イメージ図

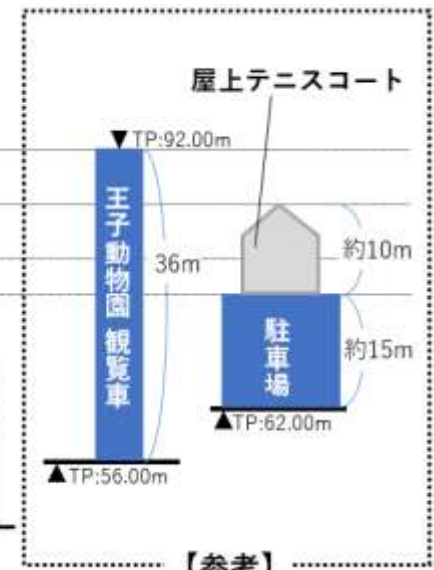
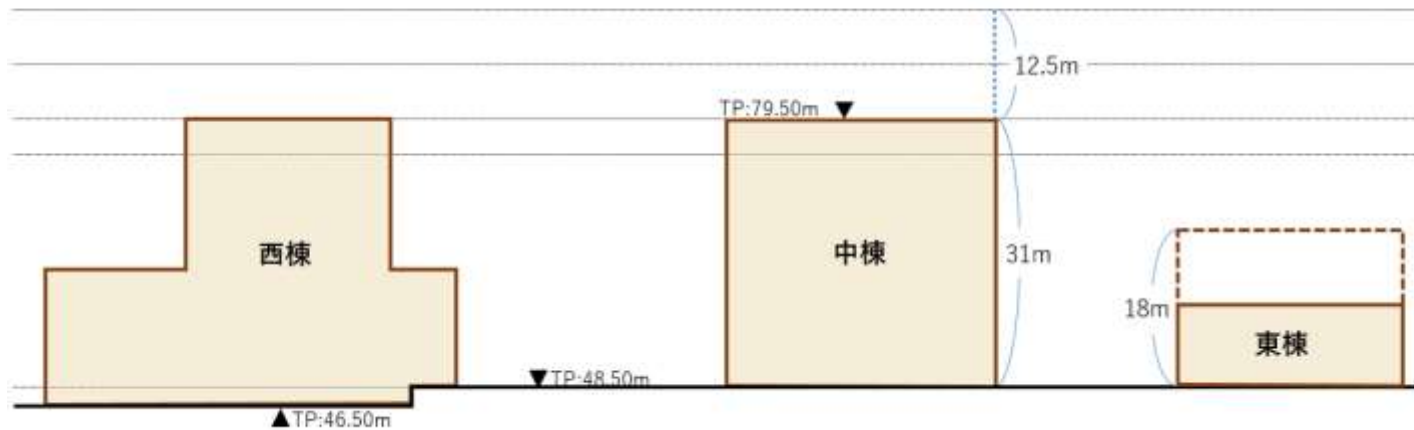
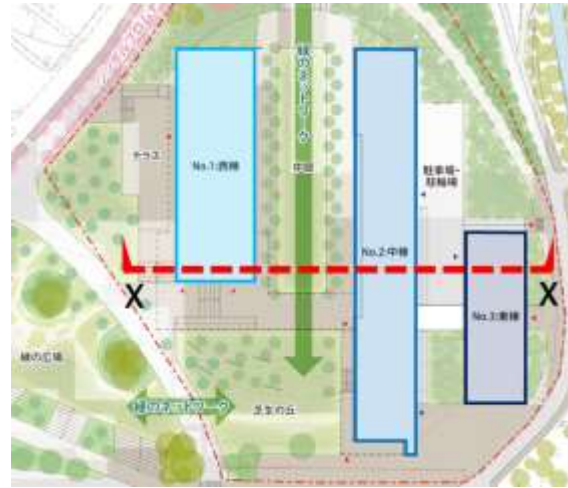


大学の概要

キャンパス 特色② 王子公園と一体的なまちに開かれたキャンパス

施設計画図（立面図）

※設計施工会社選定前の想定であり、
今後の検討で変更となる可能性があります



X-X 立面図

大学の概要

キャンパス

特色② 王子公園と一体的なまちに開かれたキャンパス

防災拠点である王子公園の防災機能向上に資する施設計画

これらのトピックを中心に、今後市と大学で協議をしながら施設・設備の具体的な計画を決定

① 日常防災面での連携

- 神戸市と連携した非常時対応体制の構築
- 防災訓練など日常的な取り組みへの協力
- 授業で防災を取り扱い、学生や市民と連携できるよう安全教育を実施

② 災害時の大学関係者の安全確保

- 大学関係者の安全をキャンパス内で確保することで、王子公園への集中抑制・混乱防止に努める
- 学内の帰宅困難者を収用可能な屋内避難場所、防災備蓄倉庫を設置し、一斉帰宅の抑制に配慮

大学の概要

キャンパス

特色② 王子公園と一体的なまちに開かれたキャンパス

防災拠点である王子公園の防災機能向上に資する施設計画

③帰宅困難者等の受入支援

➤ 王子公園側からの帰宅困難者の受入に協力

→大学関係者の安全を確保した上で、受入余地に応じて公園側の帰宅困難者を受け入れ

➤ キャンパス内インフラの提供に協力

→緑の広場に近いエリアに配置するイベント用電源等や食堂内の厨房等を提供

④安全・安心を実現する施設整備計画

➤ 迅速な災害対策が可能な配置計画

→避難が容易な低階層に屋内避難場所を設置

→搬入が容易な1階を物資集積拠点として活用

→大学関係者用の防災備蓄倉庫を設置

➤ 災害時リスクに配慮した屋内避難場所の設備計画

→照明・給排水等に保安電源を供給し、

避難者の安全・安心な避難環境を確保

→災害時も使用可能な公衆Wi-Fi設備の設置や

マンホールトイレなどの設備設置

➤ 耐震性の高い施設計画

特色③ キャンパスを通じた地域連携・貢献

- プロジェクト型学習による地域課題解決
- 多様なリカレント・リスキリング教育プログラムで、社会のニーズに対応
- 神戸市内の学校間連携
- 持続可能な社会構築のための学生活動を通じ、神戸の発展に寄与

議案に関連する都市計画の制度の概要

都市施設

円滑な都市活動を支え、市民の利便性の向上、良好な都市環境を確保するうえで必要な施設。

(例：道路、駐車場、公園、下水道 等)

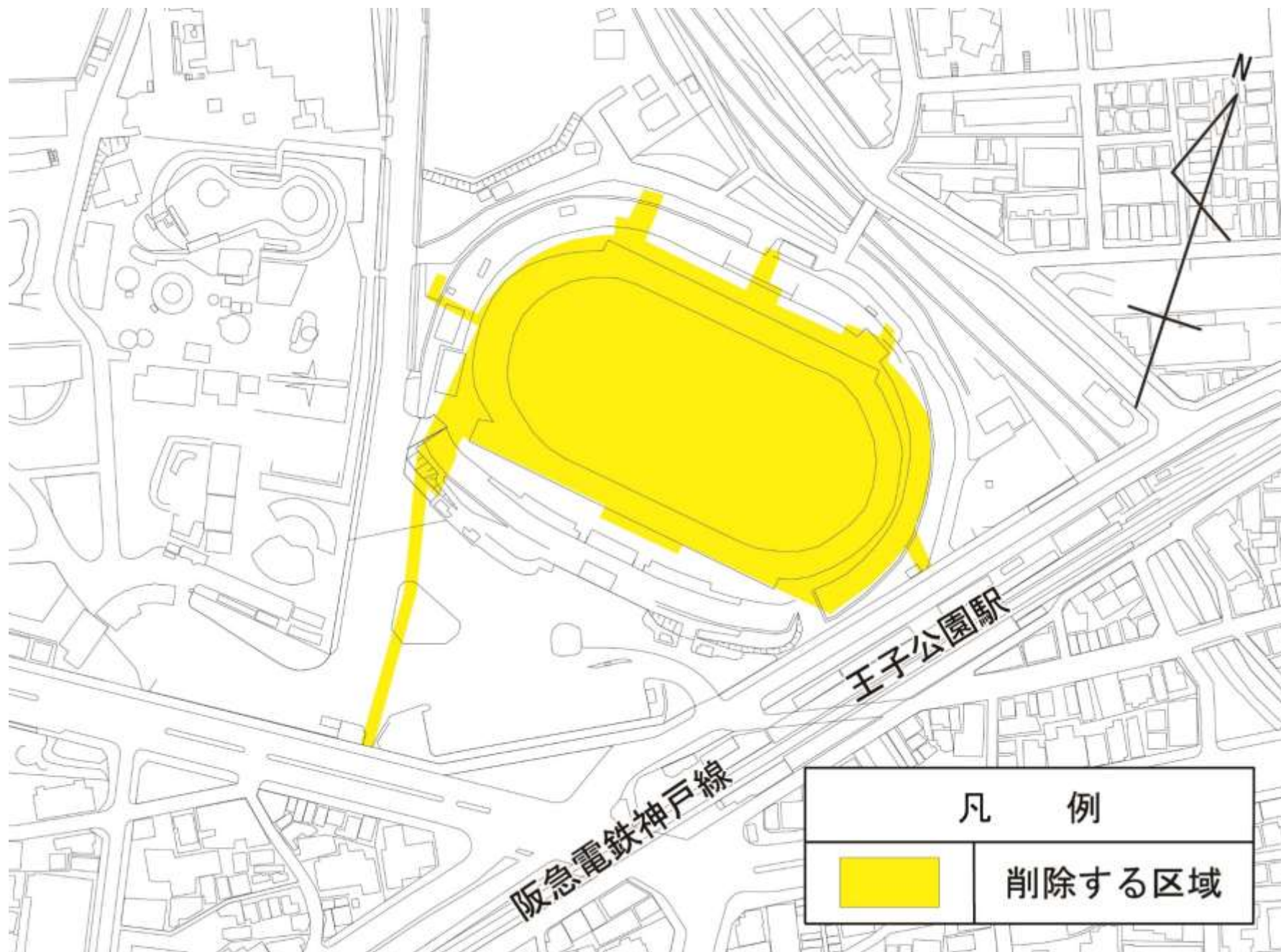
地区計画

各地域の特性に応じて、その地域ごとに整備計画を定め、建物の用途や大きさなどの建て方のルールや、道路・公園などの地区施設を定めるもの。

地区計画により、用途地域に定められたルールを厳しくしたり、緩和することで、各地域にふさわしいまちづくりが可能。

第1号議案 神戸国際港都建設計画駐車場の変更
(第28号 王子駐車場)

計画図(駐車場)



都市計画変更の背景

都市計画決定(1994年)

阪神・淡路大震災による事業凍結

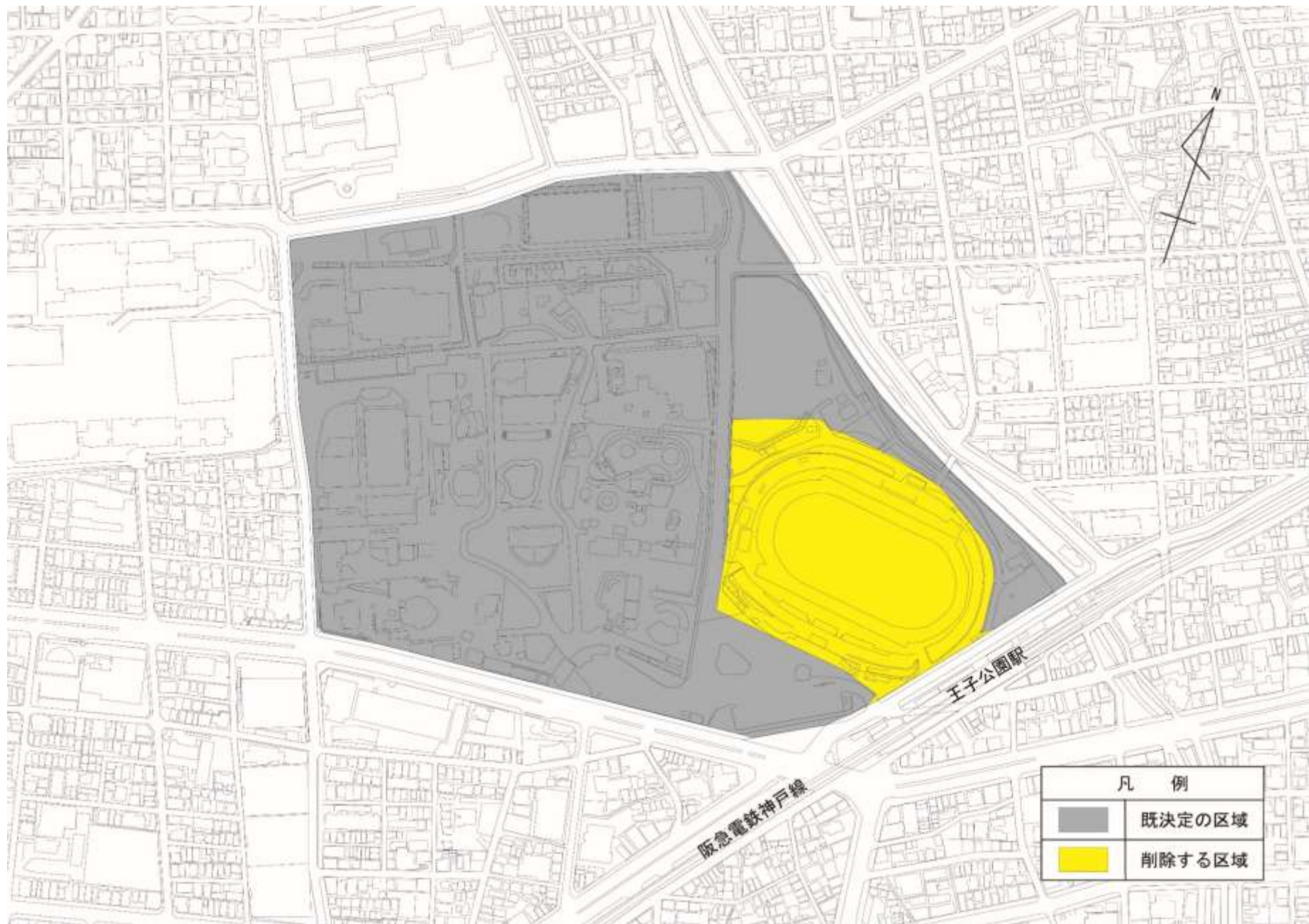
周辺地域における環境の変化
(未整備の状態が続く)

再整備にあわせた新たな土地活用

都市計画変更へ

第2号議案 神戸国際港都建設計画公園の変更
(5.5.1号 王子公園)

計画図(公園)




「都市計画公園」と「都市公園」の違い

都市計画公園

- ・ 都市計画法に定義される
- ・ 長期的な視点から計画的な整備を進めるため、
必要な区域を明確にしたうえで、都市計画に定めるもの
- ・ 都市計画に定めることで一定の建築制限が課される

都市公園

- ・ 都市公園法に定義される
- ・ 都市計画施設である公園又は緑地で地方公共団体が設置するもの
及び 地方公共団体が都市計画区域内に設置する公園又は緑地
- ・ 都市公園法で、公園又は緑地に設けられる施設が定義される



都市計画公園は、適正かつ合理的な土地利用を確保する目的で
関連する都市計画との整合を図る必要がある場合に、
都市に必要な機能を確保しつつ、変更することが望ましい

都市計画変更の背景

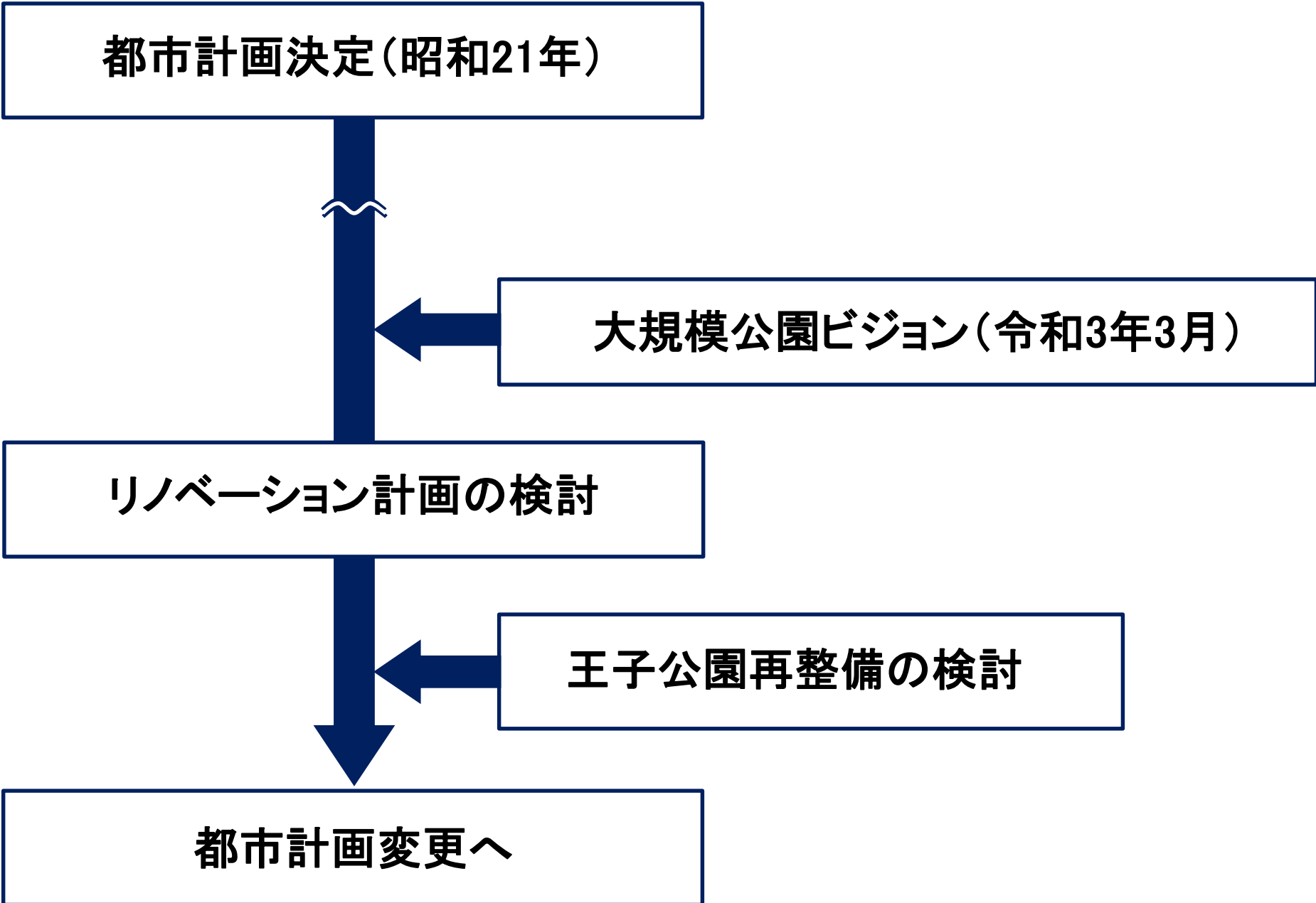
都市計画決定(昭和21年)

大規模公園ビジョン(令和3年3月)

リノベーション計画の検討

王子公園再整備の検討

都市計画変更へ



第3号議案 神戸国際港都建設計画地区計画の決定
(王子公園地区地区計画)

地区計画(素案)の縦覧の結果

(1)縦覧期間

令和5年 10 月 10 日(火)～10 月 24 日(火)

※意見書の提出は 10 月 31 日(火)まで

(2)意見書の通数・件数

総数:122 通(194件)

《意見の内訳》

- | | |
|------------------------------|-------|
| ①王子公園地区地区計画(素案)に関する意見 | 62 件 |
| ②その他都市計画(都市施設、再整備関連以外)に関する意見 | 18 件 |
| ③王子公園再整備基本計画(素案)に関する意見 | 114 件 |

地区計画(案)への反映

①土地利用の方針

「スポーツ・レクリエーション地区」の名称では想起しにくいいため、今後も立地する機能について、土地利用の方針に追記。

<追記文章「スポーツ・レクリエーションを通じた遊びや憩い、学び、成長等の場として、」>

取り入れた意見

- ・本計画は、「王子動物園」が持つ「社会教育」の役割を軽視している。本計画は、撤回することが望ましいが、撤回されないとしても、「王子動物園」の属する部分を「社会教育施設」としてふさわしい地区として位置づけるよう改めることの検討を求める。

②地区整備計画の「備考欄」

用途地域だけでなく、「高度地区」を明記。

取り入れた意見

- ・教育・研究地区の建築物に対する高さ制限の明記がない。
- ・そもそも意見募集と言われて計画書だけ見せられても、ただの市民ではどこまで地区計画で定められるべき物なのかわからない。

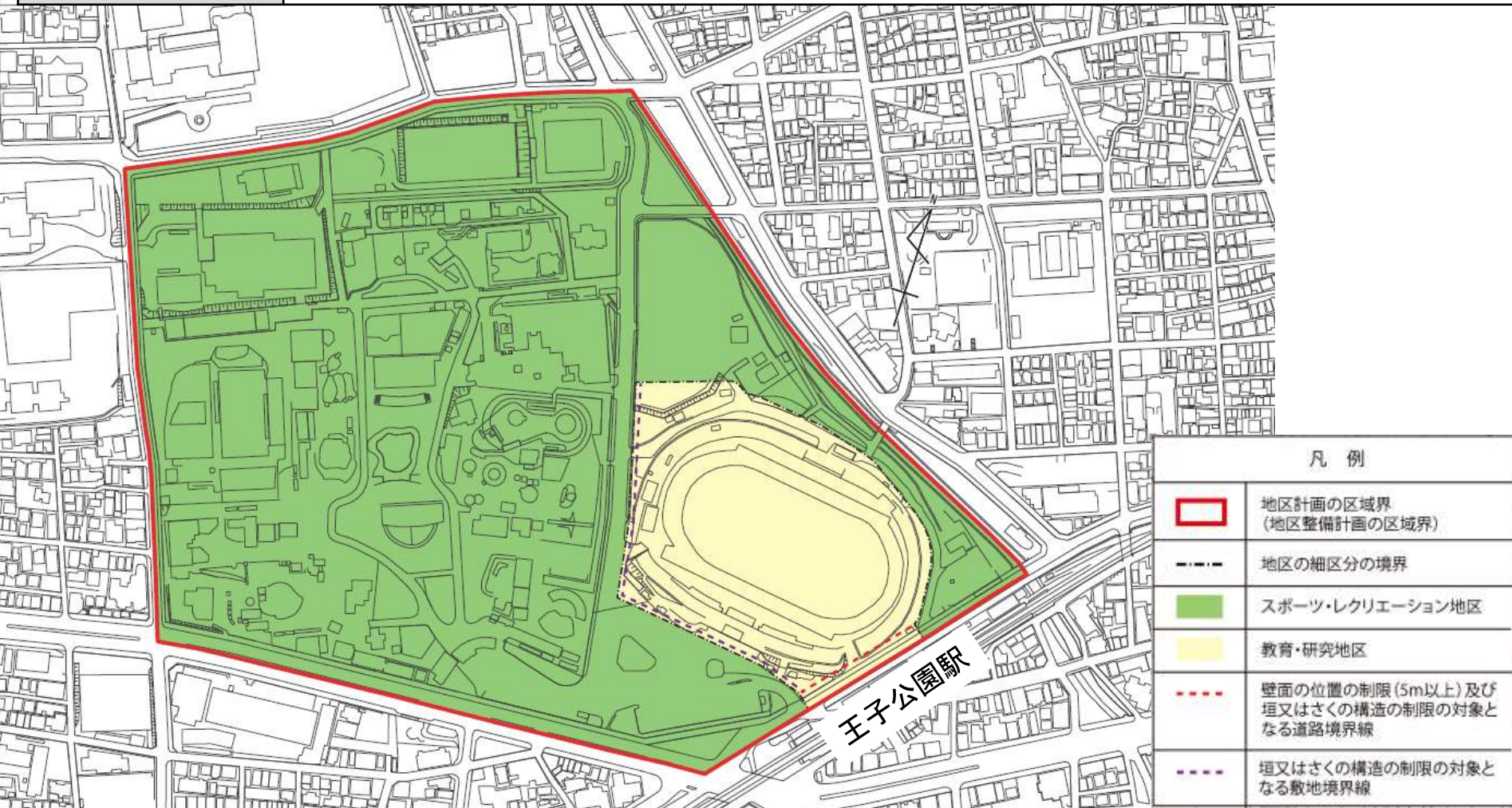
地区計画の目標

名 称	王子公園地区地区計画
位 置	神戸市灘区王子町2丁目、王子町3丁目及び青谷町1丁目
面 積	約20.9ha
地区計画 の目標	<p>当地区は、市東部の灘区地域の核となる王子公園があり、周辺には文化施設や教育施設が集積している。</p> <p>当地区では、動物園をはじめとする公園施設を魅力あるものとして再整備するとともに、学術・文化拠点のシンボルとなる大学の立地により賑わいを創出することで、公園機能の向上を図り、住民の生活の質の向上に寄与することを目指すこととしている。</p> <p>本計画は、地区の歴史や文化を踏まえ、地区全体で一体性をもった土地利用、景観を誘導し、公園の区域だけでなく、立地する大学も含めて開放的でゆとりある環境を確保し、周辺環境と調和した魅力的な空間の創出を目標とする。</p>

区域の整備・開発及び保全に関する方針

土地利用の方針①

当地区を「スポーツ・レクリエーション地区」と「教育・研究地区」に区分し、スポーツ施設や文化施設、教育施設が集積する文教エリアとしての特性や地域の歴史を活かした緑あふれる周辺環境との調和を図る。



区域の整備・開発及び保全に関する方針

土地利用の方針②

1.「スポーツ・レクリエーション地区」

スポーツ・レクリエーションを通じた遊びや憩い、学び、成長等の場として、緑地や動物園、スポーツ施設など、各施設が有機的につながり、賑わいとゆとりのある公園機能の向上を目指す地区とする。

2.「教育・研究地区」

公園と一体的かつ地域に開かれた教育・研究施設の立地を誘導することで賑わいを創出するとともに、開放的でゆとりある空間の創出を目指す地区とする。

建築物等の整備の方針

1.「スポーツ・レクリエーション地区」

緑地や動物園、スポーツ施設など、各施設が有機的につながり、賑わいとゆとりのある環境を形成しつつ、周辺環境との調和を図るため、建築物等の用途、規模に留意して整備を行う。

2.「教育・研究地区」

自然豊かな周辺環境との調和を図り、公園と一体となり、開放的でゆとりのある環境を形成するため、建築物等の用途、配置等に留意して整備を行う。

地区整備計画の概要

建築物等に関する事項	地区の細区分	名称	スポーツ・レクリエーション地区	教育・研究地区
		面積	約17.3ha	約3.6ha
	建築物等の用途の制限	<p>建築基準法第48条第6項の規定にかかわらず、次の各号に掲げる用途に供する建築物は建築することができる。</p> <p>1.観覧場の用途に供する建築物でその客席部分の床面積の合計が10,000m²以下のもの</p> <p>2.建築基準法別表第2(へ)項第4号に掲げる建築物</p>	<p>次の各号に掲げる建築物以外の建築物は建築してはならない。</p> <p>1.大学、高等専門学校</p> <p>2.前号に掲げる建築物に附属する建築物</p>	

地区整備計画の概要

	地区の細区分	名称	スポーツ・レクリエーション地区	教育・研究地区
		面積	約17.3ha	約3.6ha
建築物等に関する事項	壁面の位置の制限			<p>1. 建築物の外壁又はこれに代わる柱の面から計画図表示の道路境界線までの距離は5m以上とする。</p> <p>2. 前項に規定する距離に満たない距離にある建築物又は建築物の部分が、次の各号のいずれかに該当する場合は、同項の規定は適用しない。</p> <p>(1) 公共用歩廊その他これに類するもの</p> <p>(2) 床面積の合計が10m²以下であるもの</p>

地区整備計画の概要

建築物等に関する事項	地区の細区分	名称	スポーツ・レクリエーション地区	教育・研究地区
		面積	約17.3ha	約3.6ha
	垣又はさくの構造の制限			<p>計画図表示の敷地境界線及び道路境界線に面する部分の門、塀、垣又はさくの構造は次の各号のいずれかに掲げるものとする。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.生け垣又は透視可能なさくで高さ1.2m以下のもの 2.危険防止のためにやむを得ず設置するもの
	地域地区		第2種住居地域、準防火地域、第5種高度地区	

都市計画の案に係る意見書の要旨の集約及び 神戸市の考え方

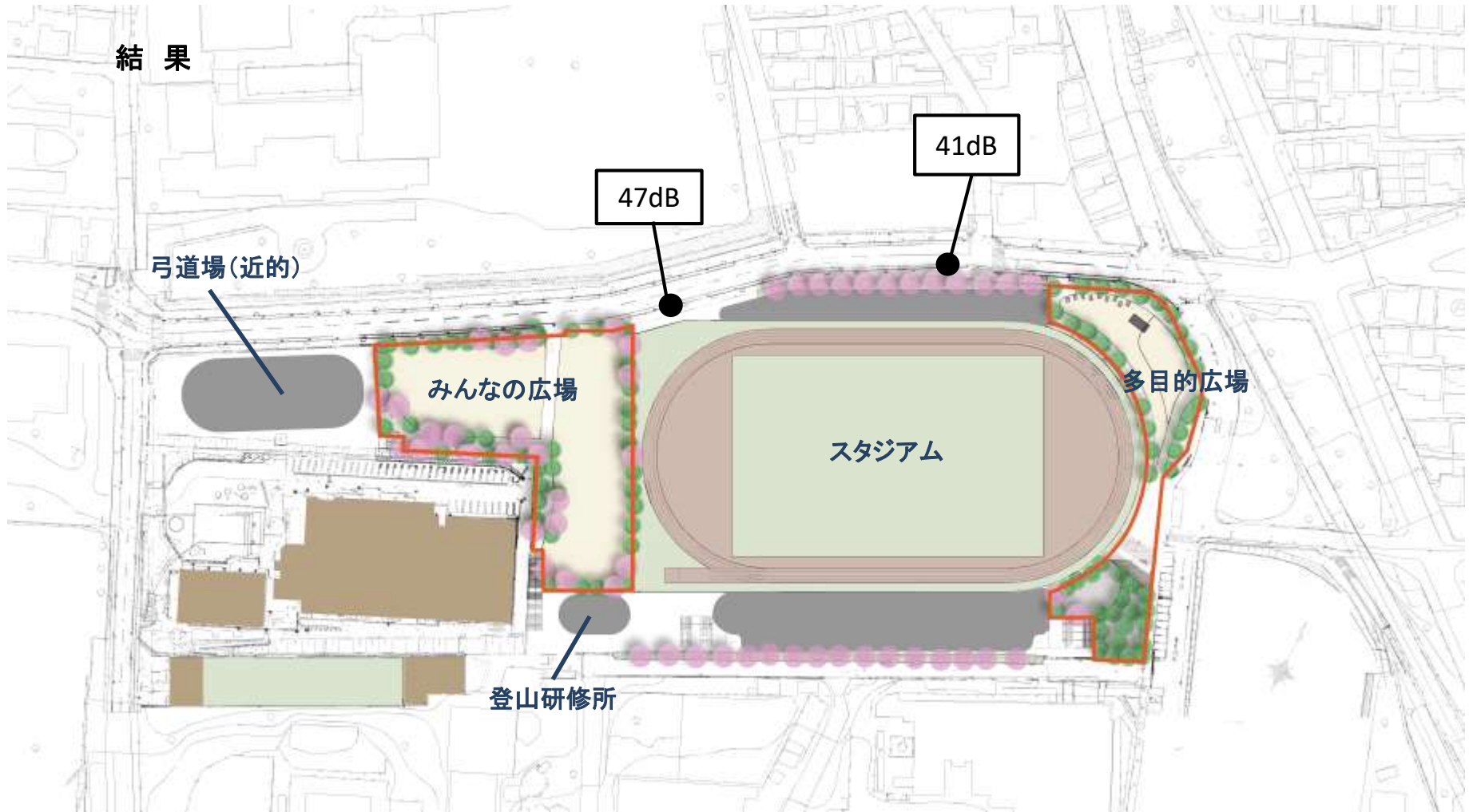
- 第1号議案 神戸国際港都建設計画駐車場の変更
(第28号 王子駐車場)
- 第2号議案 神戸国際港都建設計画公園の変更
(5.5.1号 王子公園)
- 第3号議案 神戸国際港都建設計画地区計画の決定
(王子公園地区地区計画)

スタジアムにおける音の検討状況

検討状況の概要

目標値	敷地境界線へ伝わる騒音値が55dB 以下となること
前提条件	スタジアム外から発生する音の影響は考慮しない
計算点	敷地境界線の地面高さ+1.5m ※高さ:兵庫県告示及び日本工業規格に基づき設定
音源	スタジアムから発する音量は90dBを想定 ※現スタジアムのアメリカンフットボールの試合時の音量:87dB
計算方法	騒音値の計算には騒音予測ソフトウェア「SoundPLAN(小野測器)」を使用
騒音対策	騒音対策として観客席に屋根を設置するとともに、東西面に防音壁を設置 1) 屋根:総延長=約100m 2) 防音壁範囲:スタジアム東西面 総延長=約300m 3) 防音壁高さ:スタジアムGL+約10m

スタジアムにおける音の検討状況



他事例写真(スタジアム)

※MKタクシーフィールド(吹田市)

鳥瞰(スタジアム全体)



グラウンドレベル

